

編集 日本うたごえ
実行委員会
発行 うたごえ新聞社
東京都新宿区
西大久保3の67
電話 (200) 0101-5
振替番号 東京5631
1部20円 (一部
読者は千共6か月420円)

うたごえ新聞

主な記事

- 二面 ウィンアカデミー合唱団の演奏を聞いて(淡島千景)。今月生れの音楽家「モーツァルト。みんなの愛唱歌」沖繩の民謡。楽譜「てんきぐぬ花」
- 三面 88年新春放談会「歌劇沖繩」の制作・上演をめぐって
- 四面 合唱発表会講評(中)。楽譜「親友のうた」
- 五面 全国の仲間たちへ新年のあいさつをおくる。楽譜歌劇「沖繩」ノブローグ作り。鹿島のうたおどり(じつき)
- 六面 祭典参加者の感想より。



(87年日本のうたごえ新聞社主催の「うたごえ」祭典の様子)

ぼくらは約束する

新しい年
この日は、僕たちが
文句をいって新しい年だが
死んでしまふ戦争屋もどきどきした
そいつは、死の「星」だ
一九六八年
最初の太陽が照らしたものは
何かを知っているか
高尾山で
伊勢神宮で
聖地、桂浜で、火の山で
沖繩の波々千種社の境内で
御米の舞臺で手ごかきで、いぼ
除夜の鐘と共に
「睡の大合唱」に集った僕たちの仲間だ
みんないっしょにうたごえをまわって
「沖繩を返せ」のうたがわきあがった
僕たちは今一つの約束を果した
沖繩の仲間と共にかわした約束を
そいでしよう

ぼくたちの力をもう一まわり大きく
して集ろうとしよう
なごの中央合唱団と
うたごえが生れつゝ二〇年になった
二〇年といふ成年だ
急がずかへなうたごえがする
ぼくたちは約束する
そいでしよう
それがぼくらの
新しい年
ぼくたちが新しい年をうたごえで
夢がもう一つかへなうたごえ



おめでとう

おめでとう
うたごえ

ぼくを平和の力
づよむ前進の年と
皆杯と共々
玉かへ浜敷を
約束後一
握り

一九六八年 元旦

関鑑子